

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 農林水産部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県地方卸売市場 (松阪市小津町 800 番地)
指定管理者の名称等	みえ中央市場マネジメント株式会社 代表取締役 仲川恵三 (松阪市小津町 800 番地)
指定の期間	平成 31 年4月1日～令和6年3月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	1 市場事業の実施に関する業務 2 市場内での業務の承認等に関する業務 3 施設の利用の許可等に関する業務 4 利用料金の收受等に関する業務 5 施設の維持管理等に関する業務 6 その他県が市場の管理運営上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H31	B	+	○施設の利用許可や営業承認等に関する業務について、取扱基準・事務処理要領に基づき、事業者に対して適切に事務手続きを行っている。
R2	B	+	○施設の維持管理等に関する業務について、自主的な定期巡回点検と専門業者による保守管理による異常箇所の早期発見に努めている。また、5年間で延べ 656 件の小規模修繕工事を行うなど、市場施設の維持管理に努めている。
R3	B	+	○新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、感染拡大や大規模災害に備えた「事業継続計画(BCP)」の見直しを行っており、市場業務の継続に向けた対策を進めている。
R4	B	+	○HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の推進のための巡視・指導や場内分煙化の徹底、パレットの整理といった取組により市場内衛生管理の徹底に努めている。
R5	B	+	○市場の開設から 40 年以上が経過し、施設の老朽化が進み、場内事業者からの修繕要望が増加する中で優先順位をつけて適切な維持管理を行っている点や、新型コロナウイルス感染症の拡大に対し十分な危機管理を行っている点が高く評価できることから、全期間において+評価とした。

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H31	B		○施設の利用状況の向上に向けて、関連売場施設を中心に新規事業者の誘致活動を行うなどの活動を行った結果、目標である施設利用面積比率 90%以上を全ての年度で達成しており、施設の有効利用を図っている。
R2	B		
R3	B		
R4	B		
R5	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

収入の部		支出の部	
指定管理料	0	事業費	1,310
利用料金収入	922,611	管理費	1,264,370
その他の収入	423,122	その他の支出	1,082
合計 (a)	1,345,733	合計 (b)	1,266,762
収支差額 (a)-(b)	78,971		

※参考

利用料金減免額	46,213
---------	--------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H31実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値
H31	B		市場施設の活用(施設利用面積比率)	90%以上	90.1%	92.1%	91.8%	92.4%	92.4%
R2	C		親しまれる市場づくり(市場の交流人口)	延べ3万人以上	39,350人	22,597人	20,573人	25,070人	29,869人
R3	C	+	市民向け公開講座等の開催	12回以上	11回	0回	0回	0回	6回
R4	C	+	売買参加者の新規登録者数	2者以上	2者	5者	4者	2者	2者
R5	C	+	市場からのごみ排出量	1,000t以下	904t	800t	721t	751t	785t

全期間におけるコメント

○県が設定する成果目標について

- ・「市場施設の活用(施設利用面積比率)」については、全ての年度で目標である施設利用面積比率90%以上を達成している。
- ・「親しまれる市場づくり(市場の交流人口)」については、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、「にぎわい市場デー」や「いちばの料理教室」を中止せざるをえず、目標達成が難しい状況が続いていたが、新たに「いちばの料理教室」のレシピ動画公開やホームページ・SNSを利活用した情報発信の回数を増やしており、活動内容に工夫が見られる。

○指定管理者からの提案型事業目標について

- ・「市民向け公開講座等の開催」については、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、「いちばの料理教室」が開催できない状態が続いていたが、令和3年度からレシピ動画の作成・公開やホームページ・SNSを積極的に利活用するなど、目標達成のための工夫を行っていた。その取組の

結果、市場の交流人口は徐々に増加し、令和5年度には目標値の 99.6%と目標をほぼ達成するまで回復した。この点を評価し、令和3年度から令和5年度までの期間の評価を+評価とした。

- ・「売買参加者の新規登録者数」については、全ての年度で目標である2者以上を達成している。
- ・「市場からのごみ排出量」については、全ての年度で目標である 1,000t以下を達成している。

6 総括評価

○成果目標について、「市場施設の活用(施設利用面積比率)」、「売買参加者の新規登録者数」及び「市場からのごみ排出量」の3つの項目については、全ての年度で目標を達成したが、「親しまれる市場づくり(市場の交流人口)」及び「市民向け公開講座等の開催」については、達成しなかった。一方で、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中、「いちばの料理教室」のレシピ動画公開やホームページ・SNSを利活用した情報発信の回数を増やすなど、市場活性化に向けた取組を工夫し、状況改善を図ってきた点は評価できる。

○管理業務について、場内事業者の利用許可・営業承認業務等が適切に実施されるとともに、県が行う大規模修繕において、場内事業者との調整を適切に行った。また、5年間で延べ 656 件の小規模修繕を行っており、市場施設の維持・管理に努めた。さらに、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底や「事業継続計画(BCP)」の見直しを行っており、危機管理に関しても十分に取り組んでいる。

○施設の利用について、施設利用面積比率が全ての年度で目標である 90%を超えており、市場施設の有効利用を図っている。その中でも、施設利用面積比率が低い関連商品売場棟の利用率向上に向け、新規事業者の誘致活動を行うなど、市場施設の更なる有効利用に向けた取組を行ってきた。

○第3期期間は、市場施設の老朽化が進む中、場内事業者からの要望を取りまとめ、修繕等の施設管理を適切に行った。また、衛生管理についてもHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底を図っており、食品流通を担う県の市場としての役割を果たした。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、特に外部との交流に関する業務を行うことが非常に難しい状況であったが、ホームページやSNSを上手く利活用し、柔軟な対応を行うなど、市場を取り巻く環境を理解し、適切に対応した点を評価したい。